



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 21 | Issue 4 | June 2018

➡ In this issue...

- ▶06...K1でのDaily 5
- ▶07...K2A野外学習
- ▶09...思いやり21日チャレンジ
- ▶13...準優勝おめでとう!
- ▶14...MYPパーソナルプロジェクト・エキシビジョン
- ▶16...美女と野獣 Jr.
- ▶17, 18...What Does It All Mean?
- ▶18...一言で言うと、チャンピオン
- ▶19...マス・フィールドデイ
- ▶20...裸の真実
- ▶21...G12 DP美術作品展
- ▶22, 23...Grade 9キャンプ

「学びは偶然得られるものではなく、熱意と勤勉さを持って目指した先に得られるものである。」
—Abigail Adams

学校長より

夏休みです!

休暇を前に、KISTにとって素晴らしい一年であった今年を皆さんと振り返りたいと思います。



今学年度はKIST史上最高点を達成した、2017年度卒業生のDP結果発表で幕を開けました。2017年度卒業生の40%が(45点満点中)40点またはそれ以上を獲得しました。また、今学年度のDP試験も先日終了し、7月の結果発表を楽しみに待つばかりです。KISTでは、これまで3年連続で日本国内での最高得点を獲得しており、2018年度卒業生の成績にも期待しています。12年生はDP履修期間中、本当に熱心に学業に取り組んでくれました。かれらがKISTでの残りの日々を楽しみながら過ごし、卒業式の準備をしているのを見ることが出来るのを嬉しく思っています。DPを終了するすべての卒業生とご家族にお祝い申し上げます。KISTを卒業し、新たな道に踏み出す皆さんの成功と幸せを祈念致します。

DPでの成功は一年をの始まりに弾みをつけてくれる素晴らしいものでした。卒業生の一人一人がこの素晴らしい結果を得るために多大な努力をした来たのですが、この結果は、彼らが成功できるようPYP、MYPの間もサポートしてきてくださった皆さんなくてはあり得なかったものです。その点で、この結果はコミュニティ全員の努力の結果と言えるでしょう。KISTでは、「教育には生徒、保護者、学校の信頼と協力が不可欠である」と信じています。DPでの成功はコミュニティ全体の協力関係を物語るものです。KISTで提供するすべてのプログラムにおいて、教職員が最大限の貢献を行うとともに、生徒も常に最大限の努力をし、意欲的に学習に取り組んでくれました。そして保護者の皆さんの手厚いサポートには感謝しかありません。毎年実施される統一診断テストの結果からも、生徒たちはPYP、MYPを通してDPのための準備をしっかりと行えていることがうかがえます。(皆さまには是非KISTウェブサイトの“Academic Performance”ページで生徒たちのパフォーマンスを確認されることをお勧めします) KISTへの理解を示し、その発展をサポートして下さっている皆さまに感謝いたします。コミュニティの結束はKISTの誇りです

KIST生が優秀なのは学業においてだけではなくありません—生徒たちは素晴らしい自己管理、時間管理の能力を有しており、学習と、それ以外の事を両立させています。今年度は、これまで提供してきた課外活動に加え、KIST生に様々な体験をしてもらえるよう、更に多くの機会を提供してきました。

次のページに続く

DATES TO REMEMBER



2018年6月

- 11-12 (G5-G11) Cross curricular days
- 11-12 (G9) Career experience with KIST program
- 13 Secondary awards assembly (*Morning)
- 13 (K1-G11) Semester 2 reports issued
- 13 (W) Last day of school for students (Half day for students)
- 13 (K1-G3) After care not available on this day
- 14-29 Office open
- 18-29 Summer program session 1

2018年7月

- Jun 30-Jul 29 School closed
- Jul 30-Aug 10 Summer program session 2

2018年8月

- 16 (K1/K2/K3) Parent welcome night
- 20 First day of school for students
- 21 (G1-G10) Mathematics diagnostic testing
- 22 (G1-G5) Parent welcome night
- 23-24 (G2-G5) English diagnostic testing
- 24 (G6-G12) Parent welcome night
- 24 (G12) University information night



PYP | MYP | DP

前ページの続き

KPASSの正式メンバーとなったことにより、KIST生は、関東圏のさらに多くの学校との試合に参加できるようになりました。ロボティクスプログラミングクラブの備品をさらに充実させ、校外の競技会に参加すると共に、KISTでの試合を主催しました(そして多くの賞を獲得しました!)。また、学校オーケストラを創設し、既にKISTだけでなく、校外のイベントでも演奏活動を行っています。拡大されたMUNチームも順調な活動を続けており、運動部の活動も充実しています。また、KISTで2回目となるミュージカル公演、「美女と野獣」のチケットは即日完売という大人気ぶりでした。また、生徒たちがコミュニティをより良くすることに貢献できるよう、サービス・奉仕委員会を新たに導入しました。生徒たちは学習は勿論、クラブ活動への積極的な参加で責任感を持ち、バランスの取れた学生生活を送っていると言えるでしょう。

KISTは2017-18年度に幾つかの主要な組織に加入しました。東アジア地域の158校が加盟する、[East Asia Regional Council of Schools \(EARCOS\)](#) は教職員のネットワークや研修機会を提供してくれます。今年はYuki (G11) がEARCOS Global Citizens Awardを獲得し、現在奉仕活動へのサポートとなる助成金獲得のために努力中です。また日本

国内の28のインターナショナルスクールが加盟し、英語を介した国際社会貢献を促進している、[Japan Council of International Schools \(JCIS\)](#) にも加盟しました。更にCorporate Contribution Program (CCP)に加盟したことにより、企業が被雇用者の子女のために税控除対象となる寄付を行えるようになりました。


また、来年の今頃から、待望の新体育館建設が開始されます。このようなプロジェクトは学校コミュニティの皆さんのご理解とご協力、お寄せ頂いたあたたかいご寄付なしには実現できなかったことです。後数年で学校が見違えるような新しい建物が完成すると思うと心が弾みます!

皆様が安全で快適な夏を過ごされ、8月にまた学校でお会いできることを願っております。

Jeffrey Jones
Head of School



KIST サマープログラム 2018

 生徒たちがその能力を最大限に発揮することが出来るよう、KISTでは今年も全学年を対象に夏休み中、様々なプログラムを提供します。“Summer slide”の防止、より高度な学習内容の習得、サポートが必要な分野の補完、と多様なニーズに応えることが出来ます!

今年のサマープログラムは以下日程で実施されます。

Session 1: 2018年6月18日～29日

Session 2: 2018年7月30日～8月10日

Session 3: 2018年8月13日～17日

申込多数のため、空席はわずかです!

プログラム詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kist.ed.jp/ja/node/1455>

また、お問い合わせはSummer Program Office (summer.program@kist.ed.jp) までお願い致します!



エレメンタリースクールニュース



夏休み中の学習

学年度の終わりが近づくと、一年を振り返りつつ、もうすぐはじまる夏休みについて思いを巡らせています!

休暇を家族とともに過ごすことを思うと、自然と笑顔になってしまいます。しかし、夏休み中の学習ロスの事を考えると現実に引き戻されてしまいます。

夏休みの学習ロス、またはsummer set back、summer slideとも呼ばれる現象は、夏休み中にこれまで学習してきた知識を失う・忘れてしまうことです。Quinn and Polikoff (2017)によると、生徒によっては夏休み中に1ヶ月分の学習知識を失ってしまうこともあるそうです。この学習ロスはリーディングより算数においてより顕著であり、学年が上がるに連れて失うものが大きいと言われています。Oxford Learning (2015)も、夏休み中に子供の運動能力が低下すると述べています。

夏休み中の学習ロスを防ぎ、子どもたちの運動能力を維持できる方法はたくさんあります。

読書はいつでもどこでも楽しめることのひとつです! 休暇中もぜひ本をお持ちください。学校での週間を維持するため、お子さんと毎朝数ページから1章程度の読書を楽しんでください。旅行の予定を立てる時はお子さんとガイドブックやウェブサイトを活用してください。このような活動はお子さんに読書の目的を与えてくれます。

運動能力を維持するためにも、お子さんが身体を動かす機会を提供しましょう! 運動チームや競技への参加を申し込んだり、水泳やスケートボードなど新しいスキル習得を目指すのもいいでしょう。家族で散歩をしながら東京探検をするのも良いかもしれません!

参考:

- Oxford Learning. (2015). Summer learning loss statistics (And tips to promote learning all summer long). Retrieved from <https://www.oxfordlearning.com/summer-learning-loss-statistics/>
- Quinn, D. M., & Polikoff, M. (2017). Summer learning loss: What is it, and what can we do about it? Retrieved from <https://www.brookings.edu/research/summer-learning-loss-what-is-it-and-what-can-we-do-about-it/>
- Shafer, L. (2016). Summer Math Loss. Retrieved from <https://www.gse.harvard.edu/news/uk/16/06/summer-math-loss>

Harvard Graduate School of EducationのShafer (2016)は夏休み中の算数ロスの対応策をいくつか提案しています。

- 毎日の生活の中で算数に注目してみる。買い物、野球の試合を観戦中の統計、料理など日常生活で算数や数学に関連する事柄はたくさんあるはずです。
- 算数をテーマにした短いお話を読む。以下にあるような算数をベースにした短編 <http://bedtimemath.org> を読むことで、楽しみながら算数の力をつけることができます。
- 算数・数学ゲームをする。Monopoly、Yahtzeeや Equateは算数のスキルを楽しく使って遊べるゲームです。ジグソーパズルやブロック、Kataminoなどのゲームは子供の空間認識能力を発達させるのに最適です。



夏休みは楽しみ、リラックスするための機会ですが、同時に楽しみながら学習したり意義のある活動に取り組む絶好の機会でもあります!

皆さんが楽しく、刺激的な夏休みを過ごされますように!

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



ITニュース

この度新しく Rodrigo (Raddie) Capiral がチームに加わり、現在ITチームは3名体制にて校内のIT環境の整備と構築、学習サポートに対応しています。今後は学校ウェブサイトならびにデータ管理の再構築など、取り組むことがたくさんあります。

また、保護者の皆様も、ご質問、ご意見などございましたら、どうぞご遠慮なく it.support@kist.ed.jp までご連絡ください。



ITサポートチーム

Toshi Naito – IT Manager
Dominic Arnold – IT Support Technician
Raddie Capiral – Systems Engineer

PYPニュース

今年を振り返って…

毎年この時期になると、よく生徒や保護者の方々に、どのようにして夏の楽しみの間に探求心を育てる学習法を取り入れる機会を見つけることを促すことができるかを想像します。そのように考えを巡らせているうちに、以前に今年度の間に起こったすべての成功を振り返ってからかなりの時間が経っていたことに気が付きました。振り返ってみると、先生方やアシスタントの方々が、様々な方法や視点から構成した授業プランのことを特に思い出します。ここからは手短かに、思い出を辿りながら、一年のハイライトの“フラッシュバック”を紹介したいと思えます。



K1 ミニエキシビション

今年のK1のミニエキシビションは、生徒たちの作品をより広いコミュニティに発表し、生徒たちが様々な方の目や耳に自分たちのスキルを示すチャンスを与えた、とても良い機会となりました。

K2では、ストーリーテリングの授業で自分たちの創造性に磨きをかけることにとっても楽しく取り組んでいました。生徒たちは毎週ストーリーテリングの色々な要素に注目し、最終的には自分たちでもとても満足いく物語を書くことができました。



K2 ストーリーテリング



K3 フレンドシップベンチ

K3の先生方は、どのようにしてフレンドシップベンチを設置するかに頭を悩ませていました。道具や物の使い方に注目した授業があったからこそ、このベンチをキンダーガーデンの遊び場に設置することができました。



G1 “光”についてのユニット

Grade 1 では、“光”を主題とした“世界がどのようにして動いているか”という新しいユニットが立ち上げられました。生徒たちは特に色のついた光の質と、塗料の色の違いについて興味を持ちました。塗料では色を増やすほど色が暗くなってしまふのに対し、光はすべての色と光線が混ざるにつれて、色が明るくなり最終的には白になります。



G2 ストーリーテリング

Grade 2ではストーリーテリングの様々な方法に注目したユニットで、複数の形式を用いた物語の作成に取り掛かりました。ロックミュージック、スポーツ、バレエや演劇な

ど、様々なジャンルを用いました。物語を伝え、受け継いでいく方法は、自身の想像が膨らむ限りどとまることはありません。



G3 テラフォーミング

Grade 3の“私たちが置かれている場所や時間について”というユニットでは、テラフォーミングと都市計画が注目されました。生徒たちは、人間のいない新しい土地でどのようにして自分たちの居住地を設計するかという問題について取り組み、三次元モデルのボードを使って再現する授業を楽しみました。

ニュートンの運動の法則への理解を示すために、Grade 4ではカタパルトを使った授業を行いました。生徒たちは限られた材料を使って自分たちの装置を作り、最終的にはどのグループのカタパルトが一番遠くへ飛ぶかの競争を行いました。



G4 カタパルト

そして最後に、“地球を共存する術について”というユニットで



G5 コンフリクトメディエーター

Grade 5の生徒たちは、休み時間の間にコンフリクトメディエーターという、生徒間の喧嘩や対立を仲介する役割を持った生徒を校庭に配置することに決めました。生徒たちは争いごとの解決につながる方法を提案する能力を発揮しました。

振り返ってみるとなんと今年だったのでしょうか。もし今紹介した数々の素晴らしいプロジェクトに少しでも接するチャンスがなかったのであれば、生徒たちの学校での活動に注視して頂き、PYPで行われていることを時々学校へ訪れてみてほしいと思います。

Clay Bradley

PYP Coordinator / Elementary School Vice Principal

This article was translated by Yurika (G12B).
この記事はG12B Yurikaが翻訳しました。

幼児教育ニュース

今年度をふりかえって

毎年のことではありますが、今年度もたくさんの皆様にご協力を頂き、子ども達とともに楽しく、そして有意義な一年を過ごすことができました事を感謝いたします。それぞれのお子さんの成長を感じられた一年であればと思います。



今年度最後の The Comet です。幼稚園での一年を何枚かの写真を通して振り返ってみたいと思います。

8月—慣らし保育期間

ほとんどのK1クラスの子供達にとっては、初めてお母さん、お父さんと離れて過ごす園生活でしたね。悲しい気持ちを抑えてみんな頑張りました。

10月—K.20

今年はK International School 20周年のお祝いの年でした。幼稚園の教員全員、MPRIにて子ども達が喜ぶイベントを催しておりましたが、皆さん来られましたか？



11月—読書週間

各クラス、何名もの保護者の方が子ども達のために本を読みに来てくれました。ありがとうございます！

12月—Winter コンサート

大きな舞台上に立つだけでなく、たくさんの観客の前でのコンサートに何人かの子ども達はとても緊張していましたね。



1月—新年会

KISTでの新年会は保護者の協力なしではとてもできないイベントのひとつです。本当のお相撲さん相手にお相撲をとるのはちょっとドキドキするけど、とても楽しいですね！

2月—世界文化の日

色とりどりの衣装に、美味しい食べ物、子ども達は自分の国の事をより深く学び、そして、自分の国を誇らしく思うひと時ですね。



3月—Spring コンサート、生徒主導型面談



3月は2つの大きなイベントがあり、とても忙しい月でした。生徒主導型面談ではお子さんたちが普段、教室でどのようなことを、どのように学んでいるかを垣間見る機会になりましたでしょうか？また、コン

サートでは各学年の成長段階が見られ、来年度にはお子さんがどのように成長するか、期待が持てるひと時だったのではないのでしょうか？

4月—マラソン大会

K1からK3の子供達もこの日は一生懸命走りました。子ども達が小さいこともあり、各クラス、先生たちが子ども達と一緒に走る姿が多く見かけられました。また、Reading Buddyの大きなお兄さん、お姉さんも応援に駆けつけてくれていましたね。



5月—21日間の思いやり挑戦期間



今年度から取り組んだイベントです。K1、K2クラスはお兄さん、お姉さんたちとは少し違う形で参加しました。自分たちで、思いやりキーチェーンを作ったり、親切にしてくれたお友達の名前を親切の輪につなぎました。そして、21日間の思いやりカレンダーでは毎日、21日間、

新しい親切な行動にチャレンジしました。こうやって小さな思いやりがどんどん広がっていくといいですね。

5月—家族の日

家族の日は毎年とても楽しい一日ですね。子ども達はお母さんや、お父さん、家族のみんなと走り回れるこの日が大好きです。



6月—年度末パーティー

きっとこれが最後のイベントですね。皆さん各教室で楽しいひと時が過ごせますように。

写真を通して、一年を振り返ってみました。本当に子ども達の成長がとても感じられる一年でしたね。ただ、毎年、毎日繰り返していますように、小さな子ども達と毎日過ごしている私達にとって、ご家族の方のご協力は本当に無くてはならないもので、感謝してもしきれません。どうぞ、皆様、元気にそして楽しい夏休みをお過ごし下さい。

Eri Ozawa

Early Childhood Coordinator (K1-K3) / K1B Teacher

K1でのDaily 5

K1の生徒たちがJolly Phonicsでの文字とその音(s, a, t, i, p, n, c, k, e, h, r, m, d, g, o, u, l, f, b)の学習を終了した後、Daily 5と呼ばれるliteracy学習への取り組みを開始しました。Daily 5はK1の生徒たちが自立した学習者となり、リーディングやライティングに楽しく取り組めるためのスキルを発達させてくれます。

Daily 5には以下5つのステーション(作業内容)があります。

1. 自分で読む

絵を見たり、文字を発音してみたり、フォニックスで学んだことを組み合わせさせて文字を読んでみたり、一箇所に留まって、静かに読みます。



4. ライティング

生徒は自分のライティングノートを使って書く練習をする、これまで学んだ筆順で文字をなぞったり、特定のアルファベットで始まる絵に色を塗ったり、同じ文字で始まるものの絵を書いたり、フォニックスの知識を活用して単語を書いてみたりします。



2. 静かに読む(音読)

EEKK(肘と肘、膝と膝、近い距離)に座り、相手に向かって静かに音読する。絵を見ながら説明をし、相手にも絵を見せる。フォニックスで学んだことを組み合わせさせて文字や短文を読んでみる。



5. Word work

大文字と小文字組み合わせたり、アルファベットを組み合わせさせて単語にしたり、文字パズルをしたり、文字ブロックで単語を作ったり、フォニックスを使って単語を作ったり、文字・単語の神経衰弱をしたりします。



3. 読み聞かせに参加する(聞く)

ヘッドフォンやイヤフォンを使って一箇所に留まり、静かにDVDやCDで物語を聴く(画面を隠して、読み上げのみ)。



生徒たちは自分たちでステーションを選ぶことで、**知識**を使います。また、一つの課題を終えたら、ステーションを移動するという**道徳心**も有しています。クラスやクラスメートのことを考えて静かに課題に取り組むという**思いやり**を示すことも出ています。

Claire Yoneyama
K1A Teacher



K2A野外学習

生徒たちが生き物の真価を理解し、尊重することをサポートする

K2Aの生徒たちは生き物と、生き物に対する責任について学んでいます。小さな子どもたちは生まれながらに世界や自分たちを取り巻く環境に関心を持っています。そして、園庭は子どもたちの探究にふさわしい環境を提供してくれます。直接外の環境に触れ、屋外での経験を通して、子どもたちは自然に対する理解を深め、自然界を尊重し、感謝する気持ちが生まれます。

生徒たちは取り巻く環境に対して多くの疑問を持ち、それを表現しました。例えば、「この石の下には何があるの?」や「なんで蟻の家を見ることは出来ないの?」などです。また、生徒たちが見つけた虫が住む場所を作りたがったので、虫の観察週間に、みんなで「虫ホテル」を作りました。生徒たちはホテルに入れる虫を探し、虫たちが生きる為に必要なものについて学ぶ中で、生き物や環境に対する前向きな態度を学ぶことが出来たと思います。

Catherine Wells
K2A Teacher



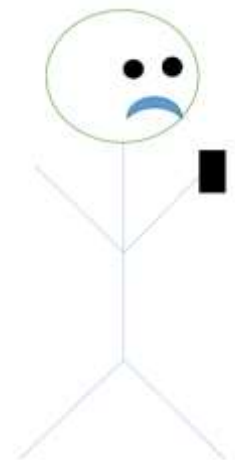
PYP Exhibition

以下は G5 PYP Exhibition グループの一つからみなさんへのメッセージです。

「スマホゾンビ」は危険です！

「スマホゾンビ」とは歩きスマホをしている人たちを指します。歩きスマホは深刻な怪我や死にさえ繋がる恐れがあります。スマホゾンビは好ましくない行為でもあります。歩きスマホをしている人たちはいずれその行動を後悔することになるでしょう。子どもたちにも歩きスマホをしないようにぜひ伝えていきたいです！

Hana (G5B) and Nao (G5A)
PYP Exhibition Phone Zombie Group



優しさ



21-Day Kindness Challengeは終わりました。もう、優しくする必要はない。自分のことだけを考えて、他人のことはどうでもいいのでしょうか。それとも、この機会をきっかけに変わっていくのか。

私にとって、優しさとは、見返りを求めず、自分以外の人のために何かをしてあげることです。自分のことだけでなく、他人への思いやりを持つということを意識する。最初の一步は、恥ずかしがり屋の私にとっては簡単ではありません。緊張して、みんなに注目され、手伝いに行くなどでもじゃないけどできません。相手と言葉が通じない場合はもっと怖いです。理解してもらえるのか。怒らせたりしないか。こんな質問が頭を過ります。しかし、優しさは一つの特殊な言語なのです。口を使わず、言葉を使わず、心が伝えてくれます。エレベーターもエスカレーターもない駅で、ベビーカーを押している人が出るのに困っている。私たちにっては、大きな問題に見えないかもしれませんが、しかし、助けを求めるのが恥ずかしい人にとっては、この小さな行動で助かります。利他的な行動かもしれませんが、このような状況に自分を置くことが、優しさになります。

優しさの大切さを本当に知ったのは、World Cultures Dayの時でした。エレメンタリーの生徒たちにいろんな言語でのあいさつを教えるために、セカンダリーの生徒たちが来たときのことでした。教えられている言語を知っている生徒が言いました:

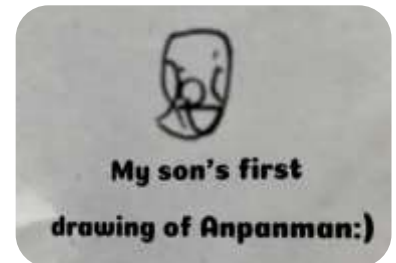
「Mr Merchel、今日は新しいことを学びました。ありがとうの言い方を覚えました。親にありがとうと言ったことが、一回もない。」



G1Aの生徒たちに、感謝日記を書かせています。今年の三月から書き留めてある周りの人の小さい優しさ。普段なら忘れてしまうことを書いて感謝をしています。

優しさは誰であって大事。親でも、友達、先生、生徒、同僚、仲間、誰もが覚えていないといけません。その優しさはいつか帰ってくるのです。もしかしたらもう帰ってきている可能性もあります。スマホに夢中で、子供が描いた絵を誇らしげに見せてくる様を気づかないままにいるのかもしれない。感謝することが心を開き、小さい幸せに気づく鍵になります。どんなに、その行動が小さくても、優しさが一番大事です。今でも遅くありません。特別な道具は何もありません。必要なのはあなただけです。

Wilhelm Merchel
G1A Teacher



これは、わたしの一番好きな動画です。明日から優しくしたくなるような動画です。QRコードを読み込むと見られます。

2018年度のISA結果をご覧ください

こちらをクリックするか、ウェブサイトの Learning > Academic performance をご選択ください

新任スタッフ



KISTでは、前回のThe Comet発行後にShane Harrisを新たなスタッフに迎えました。Mr HarrisはKIPS P2クラスの教師として雇用されましたが、2018年8月よりKISTに異動し、エレメンタリーのELSインストラクターとして勤務します。

学校コミュニティを代表し、Mr Harrisを歓迎します。KISTでの日々を楽しんでくださることを望んでいます。



思いやり21日チャレンジ

「あの子と友達になろうって思う人なんているのかな？」
 「あらやだ、あの子あんな服着て恥ずかしくないのかしら」
 「あいつ太ってるよね?」、「うわ、あいつキモっ！」



子どもたちの間でこのような悪口を聞くことは珍しいことではありません。他人の言動を悪意を持って評価、批判することは相手に対して失礼な行為であり、それを伝えるためにも子供たちに思いやりの精神を教えることはとても重要なのです。

子どもたちは物事を客観的にとらえることを苦手とする傾向にあります。「今」のことに中心に、先のことをあまり考えず過ごしている子供たちの多くは、自分たちの悪口や陰口が周りの子にもたらす影響について真剣に考えたことがないでしょう。つねにまわりの人の気持ちを優先して考え、行動のできる子どもは多くありません。

やさしさ、思いやりの大切さを伝えるため、そして自分たちの日々の行動を見直すため、今年、私たちは“思いやり21日チャレンジ”を行いました。

先生たちと私たちは思いやりのある行動を毎日5つずつ紙に記録し、それを長いチェーンにするよう指示されました。学校の人たちに思いやりのある行動の例を教えるため、チャレンジ中は参加者に様々な小さい思いやりプロジェクトを毎日出しました。

このチャレンジを正式に終わらせるため、5月23日にチャレンジ終了を祝うアセンブリーを開きました。ゲストには、Empty Hands Music を経営し、アメリカからラップを通し世界に思いやりの種を植え続けている Nimesh Nimo Patel さんをお招きし、彼の歌“Being Kind”を合唱し、思いやりがどのように私たちの人生にプラスの影響を与えてくれるかを学びました。

Kana Furnival

Elementary School Student Care
Coordinator / G3A ELS Instructor

This article was translated by Michiru (G10A).
この記事はG10A Michiruが翻訳しました。



エレメンタリーELS

夏の歌

音楽は生徒たちにとって学校のハイライトの一つです。休み時間に音楽室に行く生徒たち、朝のクラスルームや移動中に音楽を楽しむ生徒たち、UOIやPEの授業での経験から音楽を学び理解していく生徒たち、そして大規模なイベント(Beauty and the Beast Jr.やEYC)を通じて音楽によってもたらされる喜びを表現する生徒たち、このような様々な方法で生徒は学校で音楽に取り組んでいます。



音楽は楽しいだけではなく子供の言語力ー単語、文法、発音などーを著しく発達させることができます。これこそがエレメンタリーでの私たちの日課に歌や音楽が含まれている最大の理由です。それだけではなく歌は家でも簡単にできるアクティビティでもあります。この理由から歌は休暇中でも英語能力を高める最適な方法だと言えるでしょう。

以下は様々な教師が推薦する歌を通じて英語を学べる無料のウェブサイトです。

<https://lyricstraining.com>

音楽のビデオを見て聴きながら歌詞の穴埋めをするアクティビティです。このサイトの最大の魅力はジャンルの多さにあります。例えばポップソングや小さい子供向けの"Children's Music"、そしてサウンドトラックからの歌もあります。更に"Movie Scenes"セクションでは有名な映画のセリフの穴埋めもできます。どの歌詞そしてどの映画を子供たちに聴かせるか監督するために、子供にこのサイトを紹介する前にご自身でサイトにあるセクションをチェックすることをお勧めします。

<http://www.ello.org/months/weeks/music.htm>

別の歌詞の穴埋めサイトですが上のサイトより難易度が高めになっています。このサイトでは最初に歌詞丸ごと聴き、読んで、覚えます。そして次に歌詞の穴埋めをしなければいけません。まさに記憶力チャレンジですね！上のサイトと違いジャンルは少なめです。

<http://www.lyricsmode.com>

色んな曲の歌詞を紹介しているサイトです。そして紹介だけではなく歌詞をクリックすることでその意味を学べる機能、自分で歌詞の意味を追加で書き込める機能もついています。

<http://www.efclub.com/2songs/songs.html>

クラシック音楽の紹介、音楽の歌詞穴埋めアクティビティが楽しめます。

<http://eflclassroom.com/songs/book.swf>

英語の学習ができる音楽ビデオのコレクションです。それに加えそれぞれの歌がどのように英語の学習を手助けするかという説明もついています。すべてのビデオは無料ですがワークシートは有料となっています。

<https://www.themagiccrayons.com/songs>

ティム先生のMagic Crayonというサイトです。ここでは小さな子供たち向けのオリジナルソングが紹介されています。

子供と共に素敵な音楽と休暇を楽しめますように！

最後に、上記のサイトを紹介してくださった以下の先生方に感謝を述べます。

Larry Ferlazzo – <http://larryferlazzo.edublogs.org/2008/01/30/the-best-music-websites-for-learning-english>

Vicky Saumell – <http://educationaltechnologyinelt.blogspot.jp/search/label/songs>

Rachel Parkinson

Elementary ELS Coordinator/ G5 ELS Instructor

This article was translated by Miu (G12B).
この記事はG12B Miuが翻訳しました。



Beauty and the Beast Jr. を練習するG4。彼ら自身が作った振り付け、そしてセカンダリーの生徒と一緒に行動する彼らの笑顔から心から楽しんでいる様子がうかがえます。



G2BのJieiとZhe Haoによるユニット" How we express ourselves"で書かれたオリジナルソングのパフォーマンス



クラスに向けて歌のリードをするK1Bの Fiona



(右>左)EYCに向けて"Dirty Cash"という曲をG3リハーサルで練習するAiri (G3B)、Riko (G3B)、Arista (G3A)

LEAPニュース

また、一年が終わります。本当にあっという間に時がたってしまうのに驚かされます！



LEAPを受講している生徒のご家庭に今学期最後のLEAP便りをお送りしました。LEAPではいくつかの素晴らしい活動を行ってきました。お便りを受け取られましたら是非お読みいただき、今学期お子さんが参加された楽しく学べる活動の数々について知っていただきたいと思います。

もうご存知のかたも多いと思いますが、今学年度がLEAPコーディネーターとして、そしてKISTのTeaching Assistantとしての最後の年になります。KIPS/KISTでの4年間、特に後半2年間は本当に想像もできないくらい豊かな経験を積むことができました。本当に多くの貴重な経験を積み、学ぶことができたことに心から感謝しています。ここでの経験は一生の宝ものです。これまで支えてきてくださった皆さんに心から感謝しています。

私がいなくなった後もLEAPは信頼できる方に委ねることができます。次のLEAPコーディネーターにはMs Katherine Millicanが就任します！Ms Millicanはこの職に非常な意欲を見せており、すでに今年度のサマースクールの準備を精力的に勤めてくれています。

Ms Millicanからのご挨拶・・・



これまでLEAPコーディネーターとして熱心に活動してこられたMs Guarenteに感謝します。Ms Guaranteのように私の疑問に何でも熱心に答えてくださる前任者に恵まれてとても幸運に思います。これまでのLEAPインストラクターとしての経験から、LEAPがKISTのサポート機関として果たす役割は生徒の自己評価や自信を育て、クラスでの成功に影響を及ぼす、非常に重要なものだと感じています。私の前任者たちがこれまで築いてきた伝統と実績を引き継ぐことを光榮に思っています。サマースクール、そして新年度に皆さんと協力していけることを楽しみにしています！

Ms Millican、おめでとうございます！LEAPコーディネーターとしてのこれからの活躍を期待しています！

繰り返しになりますが、このような素晴らしい経験を与えてくださった保護者、生徒、スタッフの皆さんに感謝します。皆さんの今後のご活躍と幸せを祈ります。

Amber Guarente
LEAP Coordinator /
K1 Teaching Assistant



KIPSニュース

From the P1 classroom...

夏の足音が聞こえ始めた今学期、クラスでは海の生き物について学んでいます。サークルタイムには海に関連した歌を歌ったり、曲に合わせて踊ったりしています。子どもたちのお気に入りの歌は、“Baby Shark”と“Shrimp and Crab”

です。子どもたちはよく遊び時間にも“Baby Shark song, please”と、この曲をリクエストします。この曲がかかると、子どもたちは指や手で「サメのポーズ」をとりながら教室を歩き回ります。“Shrimp and Crab”は皆のお気に入りの朝の曲です。子どもたちは先生が曲に合わせて「エビやカニのポーズ」をとりながら“wooooh”という音をたてる真似をします。小さなときから子どもたちが好きな曲に合わせて体を動かしたり、歌ったりするのを見るのが出来るのは大きな喜びです。

後ほんの数ヶ月でP1の子どもたちはP2に進級します。子どもたちのこれまで著しい成長を遂げてきました。最初は先生が食事の介助をしていた子どもたちも、今ではひとりで上手にスプーンを使い、カップからこぼさずにスープを飲むことが出来ます。以前は喃語を使ったり、単語でコミュニケーションを使っていた子どもたちも、今では「今日は雨です。外にはいけません」など簡単な文章でのコミュニケーションが可能になり、「バナナをもってください」のように自分の気持ちを伝えられるようになりました。

たった一年で子どもたちは多くを学び、身体的、精神的、社会的に大きな発達を遂げました。来年のP2クラスで更に大きく成長する子どもたちを見守りたいと思っています。来年度のP1の子どもたちの成長を楽しみにしています!!!

Ma. Cielito Bautista

P0/P1 Teacher

From the P2 classroom...

こんにちは！今年の4月からP2を担当することになったShane Harrisです。今年を振り返ると、P2の子どもたちの成長を特に感じた分野がいくつかあります。

まず、子どもたちの自己制御力や、英語を使って考え方や感情を伝える能力が向上しました。遊び時間もこれまでよりも他の子供達と一緒に、協力しあって遊ぶ姿を多く目にします。また、親切で礼儀正しい言葉を使い、順番を守ることができています。また、日々の習慣:きれいに・きちんと食事をする、鞆に荷物をしまふ、おもちゃを片付ける、お手洗いにいく、手を洗う、などを責任を持って行っています。教室で子どもたちを見てきた2ヶ月の間に彼らの(レゴブロックや電車の線路など)造形が更に多様で創造性に溢れたものになっていると感じました。

ここ数週間は遊び時間や雨の日の午前中などにパズル、工作、折り紙、アルファベットカードなどのアクティビティステーションを設置しています。これらのステーションで、生徒たちは継続的な集中力や発達した手先などの細かな運動技能を発揮して物を操作したり、並べたりできています。

P2教師を代表してすべてのKIPS生、スタッフと保護者の皆さんに素晴らしい一年を感謝します！



Shane Harris
P2 Teacher



MYPニュース

KIST 生の家族が生徒主導面談に集う



生徒主導面談でご両親とポートフォリオを共有する Ishan (G7A)

KISTでは、毎年3月にKIST生が家族にこれまでの学習内容や成果を共有するために機会を設けています。生徒主導面談(student-led conferences)では生徒たちが自らの成果を取りまとめ、これまで達成してきたことを確認するための機会を提供しています。

SLC(生徒主導面談)の準備は生徒たちが自身の学習成果であるポートフォリオをまとめ、振り返りを作成することから始まります。今年からポートフォリオを纏める手順が変更となり、生徒たちはKISTでの生活全般について幅広く振り返ることを推奨しています。

学習成果に加え、生徒たちは人生に必要なスキルや、MYPに必須の要素、学習に対するアプローチ、課外活動についてもポートフォリオにまとめます。

これら全てはIBのApproaches to Learning Skills(ATL:学習へのアプローチ)という枠組みによって構成されています。ATLはすべての生徒にとって達成度を測る良い基準となっています。

全体的に、MYPポートフォリオと生徒主導面談は生徒やその保護者がKISTでの学校生活についてよりはっきりと理解するための良い機会を提供しています。

Rob White
MYP Coordinator



生徒はポートフォリオを通して振り返りを行います



生徒たちは ATL スキル、学習へのアプローチの発達について振り返りを行います

準優勝おめでとう！



5月4日に行われた「第42回全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首かるた部門 東京都代表選考会」において、**みちる(G10A)**が優秀な成績をおさめました。さらに上を目指して頑張ってください。



競技に参加する生徒たち



賞状を受け取る Michiru

MYPパーソナルプロジェクト・エキシビション

G10のパーソナルプロジェクト・エキシビションで生徒の探究成果が展示される

2018年度 MYPパーソナルプロジェクト・エキシビションが3月2日(金曜日)にKIST体育館で行われました。

G10の生徒たちにとってはこれまでの学習の集大成であるPP(パーソナルプロジェクト)はMYPで生徒たちが学んできた知識やスキルを発表する場です。通常の教科に加えて生徒が個人で取り組んできたこのプロジェクトは、最終的な成果物、これまでの活動記録をまとめたジャーナル、そして自身が達成したことをまとめたパーソナルプロジェクトレポートで構成されています。

エキシビションはエレメンタリーとセカンダリーの生徒たち、G10の保護者を迎え、盛大なものとなりました。エキシビション後はMYP PPの指導教員が生徒のプロジェクトの評価を行います。今回のエキシビションで取り組んだテーマの多様性、成果物の質、テーマに対する生徒たちの高い関心と、どれをとっても2018年度のG10は自分たちが成し遂げたことを誇っても良いと思っています。

Rob White

MYP Coordinator



来年パーソナルプロジェクトに取り組むことになるG9は特にその過程に関心を持っています。Min Woo (G10B) がSaki (G9A) と Ethan (G9B) に取り組みについて説明しています。



今年は47名のG10がプロジェクトを完成させました。



Mai (G10A) (右)がG8の生徒たちに成果物の説明をしています。



Noa (G10A) (左)がエレメンタリー生にプロジェクトの説明をしています。



今年は玉川アカデミーからの訪問者もお迎えしました。Tomoyuki (G10A) (左)が自身のプロジェクトの説明をしています。



SNS iRules



Instagram、Facebook、その他ソーシャルネットワークサービス（SNS）の利用には13歳以上という規則が設けられていることが多いですが、13歳以下の利用による問題に直面することも多々あります。そして13歳以上であつてもこれらサービスを適切で安全に利用するためには保護者によるサポートや監督が必要になります。

夏休みに入ると、子どもたちは様々な機器やSNSに触れる機会が更に増えると思います。そのため、今の時期は、保護者がこれら機器やサービスにどの様に触れ、責任を持ったら良いのかについて子どもたちをサポートする方法を見直す良い機会だと思えます。

Janell Burley Hofmann は、[*iRules: What Every Tech-Healthy Family Needs to Know About Selfies, Sexting, Gaming and Growing Up*](#) の著者です。Hofmannはこの本を通して子どもたちへのサポート方法について提案しています。以下は筆者が提案するInstagramやその他SNSに関するiRuleです。お子さんと一緒にこれらを確認し、ご家庭のルールに加えてみては如何でしょうか？

1. 何かをポストする前に一旦考える。これはほんとにシェアすべきものだと思う・感じるか？もし、Yesならシェアしましょう！
2. テクノロジーを介しても前向きでいましょう；楽しく、前向きなコメントや写真をポストしましょう。明るい気持ちは伝染します！
3. 罵倒語や不適切な写真、コメントなどをポストするのはやめましょう。自分のおばあちゃんに読まれたくないものは、ポストしないようにしましょう。
4. フォロワー・フォローする相手はクラスメートやスポーツ等習い事、または近所の人に限定しましょう-それ以外は保護者の許可を得ましょう（セレブや芸能人などを含め）。
5. 誰かを仲間外れにするようなポストはやめましょう。「あなた以外の人はこんなに楽しい思いをしているよ！」ということを示すようなインスタ仲間のポストを喜ぶ人はいません。
6. A、N、L（年齢、氏名、住所・場所）をプロフィールに載せたり、ポストするのはやめましょう。
7. アカウントは非公開設定にしましょう。
8. 父母・保護者がフォローするようにしましょう。
9. 父母・保護者がパスワードを把握する。
10. 「保護者が不定期にスキャンを行う」- 特に試用期間中。ただ、お勧めは子どもが任意で保護者と情報共有することです！
11. ユーザーネームは一つのみ。秘密のアカウントは作らない。
12. 友人や家族の写真をポストする際は許可を取る。特定できない人物の写真はポストしない（動物はOK）
13. 知っている人すべてをフォローする・される必要はありません。繋がりたい人を選びましょう。量より質です！
14. いつでもブロックしたり、フォローをやめたりと考えを変えてもよい。
15. "Like"するものは厳選する。そのダブルクリックはあなた自身でもあるのです。
16. 言いたいことがたくさんある？電話をしたり、自転車に乗って直接言いに行きましょう。いつでも皆にやり取りやチャットを公開する必要はありません。
17. 見たことや、送ったもの、シェアした内容に不安がありますか？どうしたら良いのかわからない？そんな時は誰かに聞いてみましょう！皆で解決方法を探ることが出来ますよ！




片付けよう - 健全な社会性発達のために

ご存じでしたか？

卓上の携帯が以下に繋がることを：

- × 共感力の低下
- × 親しみの低下
- × より多くの表面的な会話

研究結果はこちらをご覧ください



美女と野獣Jr.

5月11日の金曜日に、G4の生徒たちとMYP生数名による「美女と野獣Jr.」のミュージカル公演を2回行いました。この公演のための準備段階からサポートして下さった皆様へ感謝いたします。リハーサルを始めたのが1月からなので、準備にあまり時間をかけることができなかったのですが、全員で力を合わせて素晴らしい公演にすることができたと思います。

KISTファミリーの皆さん向けに下記 Library Moodle ページで公演ビデオを公開しています。

<http://bit.ly/KISTBeautyAndTheBeast>

以下、G10生による公演の感想をご覧ください。

Megu (G10A)

学校用にアレンジされた美女と野獣の公演を心から楽しみました。演じていたすべての生徒が熱心に取り組んでいて、歌も演技も素晴らしかったです。この公演を鑑賞し、同級生を応援できたことを嬉しく思います。

Namiki (G10A)

演じた生徒が台詞をしっかりと覚え、上手に歌っていました。また、ステージ上の小道具も効果的でした。僕たち観客は、一曲終わるたびに熱心に拍手をしました。

Rithwik (G10A)

ミュージカルは初めて見たのですが、予想よりずっと楽しかったです。観客も熱心に鑑賞しており、演者にとっても良い雰囲気を作り出せていたと思います。

Robert Collins
PYP Music Teacher

Makiko Duran
MYP/DP Music Teacher



What Does It All Mean?

DPコースの前半を終了したG11 English Language and Literature の生徒たちがこれまでの学習を振り返ります・・・

英国の文化理論社、Stuart Hall の有名な言葉に「物事には意味はない、私達が意味を構築するのだ」があります。私はこの言葉こそDPの言語教育に不可欠なものだと感じます。そのため、私が授業を行うすべての教室にMr Hallの大きな写真とともに、この格言を掲示しています。明らかに、私が彼の信奉者であることをおわかりいただけると思います。

Hallの格言が表すものについて聞いたところ、Igor (G11B) は「全ての物は偶発的なものであり、言語も自然派生するものではなく、人間によって作られたものだ」と述べ、そのため、「意味というものは私達に寄って作られたものだ」と続けました。

以下は私のクラスで行った年度末アンケートでの生徒の考え深いコメントのほんの一部です。アンケートは今年度学習した幅広い範囲をカバーしています。

‘Truth = Knowledge + Power’ (真実=知識+権力)の意味・重要性とは？

真実は権力によって操作されることがある、真実は「真実になる」というのはくり返し言われていることだ。

Xiang Yu (Tom) (G11B)

Edgar Allan Poe の作品で一番好きなものとその理由は？

Poeで一番好きなのは‘The Pit and the Pendulum’ (落とし穴と振り子)です。次々と困難が襲い来るパターンが自分の人生と同じ様に感じたからです。主人公が問題を解決したと思った途端、また新たな問題に直面します。このサイクルはDPと同じです！僕はよく多大な努力をして課題をやっと終えた途端、次の日に！別の教科で同じくらい大変な課題が出される、というのを経験しました！なので、次々困難に直面するということに共感し、この作品が好きになりました。

Kevin (G11B)



あまりに不可解な点が多い、The Fall of the House of Usher (アッシャー家の崩壊)です。Madelineは幽霊なのか？彼らは本当におかしい病気なのか？登場人物は(作中で)実在するのか？これらの解釈は読者次第なところが好きです。

Sophia (G11B)

今年のDP Englishで学んだ中で誇れることは？

[Stuart Hallの] ‘The Work of Representation’です。異なる視点から言語学について考えさせてくれるからです。

Varsha (G11A)

このコースで学んだマニアックな知識は？

‘milieu’という言葉の意味：文書や人物が存在する社会文化的な環境のこと

Sophia (G11B)

Atwoodの‘The Handmaid’s Tale’ (侍女の物語)の終わり方として‘Are there any questions?’ (なにか質問は?)が非常にふさわしいわけは？

この小説は疑問でいっぱいだから。この物語は不明瞭な終わり方をしていて、OffredがMaydayとGileadから逃れられたのか、植民地に送られたのかを明確にできていません。そのため、Pieixoto教授のスピーチの最後の“Are there any questions?” は、疑問でいっぱいであろう読者や観客にとって非常に皮肉な終わり方だと思います。

Tom (G11B)



前ページの続き

学者はなぜ ‘the death of the author’ 説のポスト・モダニズムの一例として ‘The Handmaid’s Tale’ を用いる事があるのか?

“ Atwood 自身があるインタビューで答えていたように、彼女は特定のテーマ・メッセージを伝えるためにこの作品を書いたわけではありません。これは(自身の作家としてのキャリアのために)彼女が書いた一作品にすぎません。しかし、同時に彼女の時代の社会的政治的背景がプロットや登場人物に影響を与えていることは認めています。そのため、小説世界と読者の交流は作者によって(意図的に)定められたものではありません。

Meng Ting (G11A)

Jane Austenの ‘Pride and Prejudice’ (プライドと偏見) で一番好きな登場人物とその理由は?

“ Mr Collinsです。彼の人物描写を通して人間の媚やへつらいを上手に表現していたと思います。作中での彼の態度や言葉遣いは礼儀正しさに対する社会の考え方; 礼儀正しい話し方をし、感情をあらわにするのは好ましくないという感覚を描写しています。

Varsha (G11A)

“ Mrs Bennetです。Not only is her relationship with Mr Bennetとの関わり方がユーモアにあふれているだけでなく、彼女の人格の成長が興味深いからです。

Sophia (G11B)



“ Pride and Prejudiceで一番好きな登場人物は Mr Darcyです。愛を感じられない人物像から素敵なお紳士への変化が面白かったからです。物語が進むにつれ、彼の不器用さを面白く感じ、Elizabethが PemberleyにあるDarcyの地所を尋ねるシーンを楽しみました。

Meng Ting (G11A)

教師をする中で最も嬉し誇らしいのは、保護者としても、教師としても学ぶことの喜びを次の世代に伝えられたと感じたときです。KIST生たちと偉大な文学作品(とそれらに含まれる疑問)を共有できた時の満足感は何ものにもかえられません。奥深い読書と力強い思考に満ちた一年を共有してくれたG11の皆さん、ありがとう。

Steven Otis
Secondary Subject Area Coordinator—English

一言で言うと、チャンピオン

KISTの8年生がワシントンでScripps National Spelling Beeの日本代表に

3月に、8BのHannaは、KISTを代表して日本大会に出ました。2月に行われた、KISTでの6~8年生の大会で勝ったHannaは、日本大会で各校の代表との対戦の際、「楽しみですが緊張しています。」とっていました。張り詰める、9つのラウンドの末Hannaは、KIST初の日本チャンピオンになりました。最後のラウンドでHannaが、スペルした言葉の中には、**emulate**、**parsonage**、**intermission** と **execute** などがありました。そして最後の言葉は、**insubordinate** でした。

1地位になったHannaは、成果をたたえられ、The Japan Timesの表紙で紹介されるだけでなく、ワシントンに行き世界大会に参加する、機会も得られます。彼女は、5月の終わりに参加する、大会に向けて、同じく「楽しみですが緊張しています。」とっていました。学校として、日本大会での成果を誇りに思い、応援をしています。おめでとう、Hanna!

This article was translated by Shiori (G10B).
この記事はG10B Shioriが翻訳しました。



トロフィーを持った8B Hanna
写: Satoko Kawasaki, The Japan Times



マス・フィールドデイ

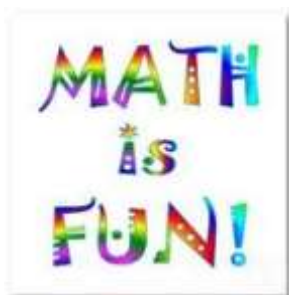


KISTは4月に神奈川県にある Zama High School で行われたマスフィールドデイに参加してきました。

生徒たちは様々なアクティビティにおいて、個人としてもグループとしても、一生懸命取り組みました。当日は、新しい数学的知識などを習うだけでなく、東京中から集まった生徒たちと友達になることも出来ました。

来年は現五年生を含む、より多くの生徒たちが参加することを期待しています！

Louise Green
MYP Mathematics Teacher



おめでとう!!!!

G6 Category (個人部門)

Kaito (G6B) 1st place
Arnav (G6B) 3rd place

G10 Category (個人部門)

GaOn (G10B) 1st place

Tech Challenge (チーム部門)

Sara (G7A) 1st place team – Junior
Ji Hye (G10A) 1st place team – Senior

Energizer (チーム部門)

Anish (G8B) 1st place team – Junior
Shimpei (G11B) 1st place team – Senior
Seojin (G10B) 1st place team – Senior

今年は去年に比べ、三人も多くの入賞者がいました！お疲れ様でした！！



KIST セカンダリー オーケストラ

今年度、学校の音楽プログラムのための楽器購入にご寄付、ご支援くださった皆さま、本当にありがとうございました。皆さまからの温かいご支援をいただき、ティンパニを3台、クラリネットとトロンボーンを各一本ずつ購入することができました。

オーケストラ部としては、今年度、老人介護施設、学校行事、いくつかのチャリティーイベントで演奏を行いました。

年間を通して保護者ボランティアの方にご支援いただいたことにも心より感謝いたします。金管及び木管部のご指導を頂いたMrs Jun とMrs Morimoto、ありがとうございました。

来学年度はオーケストラ部をさらに拡大する予定です。来年度の活躍をご期待ください。楽器をご寄付頂ける方は是非Mrs Duran までご連絡ください。

makiko.duran@kist.ed.jp



裸の真実

ヌードでも大丈夫…時と場合によっては

The Bath of Psyche (右)を御覧ください。皆さんの頭をよぎる言葉は何でしょう？美しい？官能的？魅惑的？だらしない？

では、裸の女性が町で集団でいた場合はどうでしょう？彼女たちをどう思いますか？右の裸婦画に対して抱いた印象と大きく変わるでしょうか？

「裸」は常に物議を醸しています。歴史的にも、公共の場で裸になるのは「間違っている」という考えが主流である社会が大半を占めています。私達の多くが自分の体の「個人的な部分」を見せることは恥ずべきことという教育を受けてきています。多くの社会運動やデモなどでは男女ともに抗議行動や反抗心の一環として裸体で参加するケースが散見されます。TOK(知識の論理)では、裸に対する議論は人文科学、倫理、美術の分野にまで及びます。



5月11日にG11の生徒たちは美術とTOKの授業の一環として、横浜美術館で開催されているNude展に行きました。(6月24日まで開催の)ギャラリーでは様々なメディアの「ヌード」を展示していました。19世紀後半の歴史や神話を題材にされた作品や、近代的な作品などが数多く展示されていました。展示されていた130あまりの作品から、西洋美術史200年の「ヌード」に対する感覚の変遷を学ぶことができました。

「裸」と「ヌード」という言葉は互換性のある用語として使用されています。しかし、美術の世界ではこの2つの単語には微妙な違いがあります—「裸」は不道徳や俗悪さを示すのに対し、「ヌード」は美術のための確固たる目的や意図を持って使用されています。しかし、一般的にはこれらの用語は類語として扱われ、「性的な」あるいは「権力」を表す際に用いられています。

しかし、これらをモチーフとした作品は歴史的、美術的概念を持つということが確立されている美術界においてさえ、物議を醸すことがあります。ヌードに対する様々な異なる文化的、宗教的視点は千年以上前にさかのぼります。古代ギリシャではヒロイズムの象徴として(多くの神話上の神あるいは女神に表されるように)ヌードというものを信仰していました。しかし、古代ローマではヌードは社会的な恥辱であり、攻撃的ですらあると考えられました。現代でさえ、女性の裸婦をモチーフとした作品は主観的なものとして捉えられ、「男性視点」の性差別的なもの、あるいは正反対に愛情表現として捉えたりされています。

Emiri (G11B)



NUDE: ART FROM THE TATE COLLECTION

<http://yokohama.art.museum/eng/exhibition/index/20180324-497.html>

参考:

Tate. (n.d.). 'The Bath of Psyche', Frederic, Lord Leighton, exhibited 1890. Retrieved from <http://www.tate.org.uk/art/artworks/leighton-the-bath-of-psyche-n01574>

G12 DP美術作品展

アートを選択している12年生の生徒たちの成果が見られる作品展が、3月の二週目に行われました。この作品展は、生徒たちの二年間のIB Diploma Visual Arts Programの集大成です。生徒たちは、作品に様々なメディアを使い、あらゆる美術の分野を利用して自分のテーマや、コンセプトを追求しました。

作品展は、エレメンタリーのホワイエを使わせていただきました。快く使用させてくださった、エレメンタリーのスタッフに感謝したいです。ホワイエには生徒たちの作品が日替わりで展示され、他の生徒たちを魅了しました。

作品展は、エレメンタリーとセカンダリーの生徒たちを含む、学校関係者全員が楽しめるものとなりました。また、実際に作品を製作した生徒たちが、質問に答えたりもしていました。

卒業するDP Visual Artsの生徒たちを、KISTの生徒、そして、スタッフを代表して祝福したいと思います。おめでとう。これからも頑張ってください。

Luke Jones
MYP/DP Visual Arts Teacher

This article was translated by Michiru (G10A).
この記事はG10A Michiruが翻訳しました。



Moe Min (G12A)



Ellen (G12A)



Taimu (G12A)



Rachel (G12A)



Su Bin (G12A)



Ibuki (G12B)



Manato (G12A)

Grade 9キャンプ

G9がキャンプを通して結束を固める

ゴールデンウィークの直後にG9は山梨県での校外学習: キャンプに参加しました。山中湖のYMCAで、生徒たちは富士の裾野で美しい自然を臨みながらいくつかのレクリエーション活動を行いました。また、G9教師が主導した活動にも参加しました。

この旅行の学習サイドの目的はG10パーソナルプロジェクトの準備を行うことでした。生徒たちはこれからどの様にこのプロジェクトに取り組もうと思っているかについて話し合いを行いました。また、先輩のKIST生からも手紙という形でパーソナルプロジェクトのアドバイスをもらうことができました。教師からも、長期間にわたって自身にとって意味のあるテーマを探求することになる、このプロジェクトへのアプローチについてアドバイスが共有されました。

G9AのNoah、Yukino、Uriがそれぞれキャンプの感想をまとめました。

Noah

キャンプの全体的な印象はとても良いものでした。個人的にキャンプのどちらの日も楽しみました。初日はワクワクするようなエネルギーに満ちたもので、二日目はどちらかというと落ち着いた振り返りのためにあったように思います。

初日にはサイクリング、ボート、チームビルディングと、3つの活動が提供されました。僕たちのグループ(3名でした)は時間どおりに3つの活動をすべて終わらせることができました。まず、ボートを体験しました。3人グループに分かれて、岸に(十分)近いところを漕ぎ出しました。それでも十分探検気分を味わうことができました。これは良い運動であると同時に良いチームビルディングの機会でした。他のチームのボートと競争をしたりもしました。僕のチームはなかなかのチームワークを発揮し、良い友人関係を築くことができました。サイクリングを始めるまでの間、他のチームを待つ必要があったので、前もって計画していたゲームをすることにしました。そのゲームは、簡単に言うと、頭(物理的な意味です)を使って水の入った容器をチームの次の人に渡すものです。真っ先に最後の人にまで(最も多くの水が入ったままの)容器が渡ったチームが勝ちです。パーカのフードの中(僕のフードです)に水がこぼれてしまうという楽しいアクシデントもありました。ついにサイクリングの順番がやってきました。残念なことに雨が降っていましたが、湖の周りを長距離のサイクリングをするのは気持ちが良かったです。自転車の上から話をしたりしながら湖の周りを走るのは素晴らしい経験でした。

その他にも活動を行いました。それらは全て皆で協力しなければならなかったり、誰かと時間を共有したりとG9を結束させるためのものでした。行くまではキャンプについて不安もあったのですが、とても良い経験となりました。

Yukino

コールデンウィークの直後に私達(G9)は山梨県の山中湖で来年度取り組むことになるパーソナルプロジェクトの導入となる宿泊合宿に参加しました。来年度の心構えができただけでなく、ボート、サイクリング、ゲームやハイキングなど楽しい活動を通してチームワークを築くことができた素晴らしい経験でした。同学年の友人たちをより深く知り、これまであまり交流する機会がなかった人たちとも知り合うことができました。自然に囲まれた環境で過ごすことは良い気分転換になりましたし、G9と先生方と一緒に過ごしたことで大学の寮生活について思いを馳せたりもしました。それは楽しいものなのでしょうか？近い将来を楽しみにしたいと思います。

合宿中ずっと雨が降っている中、ボートを漕ぎ、サイクリングをし、とにかくびしょ濡れになりました。でも、信じられないかもしれませんが、普段は絶対しないであろうことがとても楽しかったのです！びしょ濡れになったお互いを見て笑い合ったり、楽しい経験をたくさんしました。合宿中ずっと冒険と笑いが絶えませんでした。この経験は私がこれからもずっと大切にできる宝ものになるでしょう。



山中湖の合宿所に到着。滞在中、雨が降っていなかった最後の瞬間。



Personal ProjectについてのG10からの手紙を読み、振り返る生徒たち



ボートセッションから戻ったG9

前ページの続き

Uri

ワールドデンウィークに続き、私達は山梨県生中湖畔のYMCA施設に滞在する機会に恵まれました。滞在先は森に囲まれた自然豊かな場所で非日常の経験をする事ができました。滞在中、学年は3つのグループに分けられ、これまであまり交流する機会がなかった人たちと知り合う機会に恵まれました。

初日(5月7日)室内のチームビルディング活動と、カヌー、サイクリングを行いました。激しい雨にもかかわらず、屋外の活動はとても楽しかったです。特にカヌーはハラハラ・ドキドキする楽しい経験でした。3つのグループからさらに小さな3人グループを編成し、一緒にボートを漕ぎました。漕ぎ続けなければならないボートは体力とチーム内の協力が不可欠でした。運の良いことに漕ぎながら白鳥を見ることもできました。全ての活動が終わると、着ていた体操着がびしょ濡れになってしまったこともあって、くたくたになりました。YMCAに戻ってシャワーを浴び、夕食を摂り、一日をサルサで締めくくりました。天候には恵まれませんでした、たくさんの笑いに溢れた、非常に思い出に残る経験になりました。

2日目は山の中をさえずる鳥の声で目覚めました。パーソナルプロジェクトについての1時間の講義を受け、G10からの手紙を各自受け取りました。この手紙はこれからのパーソナルプロジェクトの準備を行うのに大いに参考になりました。このセッションの後で石割神社までハイキングに行きました。これは今回の合宿の最後を飾るイベントで、403段の階段を上った後で山道を歩きました。山道は自然が一杯で気持ちが良かったです。とても疲れたけれど、楽しかったです。

全体的にこのキャンプは思い出に残る楽しい経験でした。協力しなければならない活動が多かったキャンプの後で、学年の結末も強くなり、とても良い経験ができました。



Mr Leeがタ方のチームビルディングを主導



キャンプを締めくくる小さな神社へのハイキング



優等賞 26
メダル数 33
トロフィー 2
TOP SENIOR TEAM

以下の皆さん、本当におめでとう。良く頑張りました。

Saanvi S	Nimit B	Riya A	Tom H
Malini W	Sidaarth K	Aditya K	Kishore P
Emani I	Gini S	Heizo M	Nehal K
Sara A		Ethan K	Riju P
Emiri J			Sammi F

そして指導してくださった Mrs. Snow にも、ありがとう!

図書室ニュース



夏休み中の読書

新着情報! 今年から KIST 図書室では Summer Reading Bingo Challenge! を開催します。無料で本がもらえるチャレンジに参加しませんか?

参加方法は以下の通りです。今日から学校の最終日まで LMC または エレメンタリー 図書室で Summer Reading Bingo Challenge カードを受け取ります。このカードに夏休み中に読んだ本の題名、著者、日付を記録し、大人にサインしてもらいます。新学期初日にカードを図書室に持ってきてください。素敵な賞金が当たるかもしれません! ビンゴ (記入1列) 毎にラッフル券が一枚もらえ、カードのすべての欄に記入するとラッフル券が2枚がもらえます。

ビンゴカードを埋めたい人は学年度の最終日にカードもらうためだけでなく、夏休み中に読む本を10冊借りるために是非図書室に寄っていただきます!

サクラメダル Book Bowl

4月20日に、KIST サクラメダル Book Bowl チームが毎年恒例の全日本サクラメダル Book Bowl に参加するために St Mary's International School を訪問しました。KIST の他に10校の生徒たちが2018 サクラメダル・チャプターブックの知識を競うために集いました。

20冊から出題された一般知識(「クラスでチョコレートを食べた怒られた女の子が出てくる物語は?」※)問題に加え、サクラメダルクラブのメンバーは一冊の本の専門家であることが求められます。今年とはりわけ難易度の高い問題が出されました!

Yokohama International School の Ms Kar が私達のジャッジでした。Ms Kar は KIST 生が良いチームワークを発揮したと言ってくださいました。KIST サクラメダルの生徒たちのおかげで誇らしい気持ちを味わうことができました!

もし、みなさんが G3 か G4 で、読書が好きだったら、来年度是非サクラメダルクラブへの参加を検討してください! 2019 年度のサクラメダルチャプターブックを最初に読む権利も得られます! 今年も面白そうな作品が目白押しです。

※KIST 図書室を訪れ、この問題に答えることができた最初の5名は夏休みに追加で本を5冊借りられるチケットを獲得できます!

Scholastic International Book Club

Scholastic International Book Club をサポートしてくださった KIST CAI に感謝します。これは子どもたちが英語の児童文学に親しむまたとない機会です。その上無料で学校に届けられるのです! そして、届けられた本が皆さんのもとに届くまでには CA 図書委員会のボランティアの皆さんが、注文通りの本が皆さんに配本されるよう、分類などをお手伝いしてくださっているのです。



2018 Sakura Medal Book Bowl チーム

皆さんが Scholastic International Book Club を通して本を注文するたびに、KIST 図書室は本の代金の 10% を受け取ることができます。これを使って図書室では子どもたちに人気の *Wimpy Kid*, *Dog Man* and *Geronimo Stilton*, その他 *A Wrinkle in Time* などの最新刊を購入しています! 皆さんの親切なご支援に感謝しています。

本の寄贈

KIST 図書室ではコミュニティの皆さんからのご寄付を歓迎します。最近では2018年度卒業生からこれまでの6年間で自身が読んでいた本を寄贈されました。これからの新生活に向けて蔵書を整理し、収納スペースを確保するにも良い方法です。

K1 から G12 にふさわしい本の寄贈はいつでも大歓迎です。既に十分な在庫がある本は LMC で販売する他、KISTival などの KIST イベントでも販売予定です。

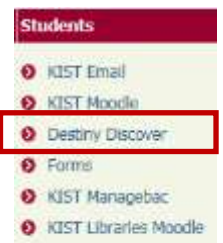
新古書販売

LMC ではファミリーデーの日に1時間限定で使用済のクラステキストの販売を行い、12,200 円の売上がありました! この収益は人気作品を複数購入したり、新刊を購入する資金に充てられます。

次にどんな本を読んだらいいかわからないのですが?

お子さんや保護者の皆さんにも司書が本を選ぶお手伝いをさせていただきます。

www.kist.ed.jp (下部の Students メニューまでスクロールしてください) > Destiny Discover > Log in



Amazon のオンラインショッピングをご存知の方はこのソフトウェアの扱いを熟知されていることでしょう! お気に入りの本のタイトルをタイプすると、お好みに合うであろう他タイトルを提案してくれます。ほとんどの提案には簡単な紹介文とその他の提案がついています。もし、気に入ったものがあれば、Hold をクリックしてください。自動的にその本を予約できます。もちろん、司書にお勧めをお尋ねいただくこともできます。

次のページに続く

前ページの続き

KISTv

KIST図書ブログでは引き続き主要な学校行事のビデオやクラスの映像を編集して提供します。

**ディズニーの美女と野獣 Jr.**

当日公演にいらした方は再び、はじめての方にもお楽しみいただけたと思います。

(1時間15分)

<http://bit.ly/KISTBeautyAndTheBeast>**21 Days of Kindness – エレメンタリースクールビデオ**

エレメンタリーの生徒たちが優しさメモや友達や先生に贈った手紙を例に、自分たちにとっての「優しさ」を示してくれます。

(6分)

<http://bit.ly/KIST-21-Days-Elementary>**ロボット相撲 2018**

Mr Downey's と Mr TimのレゴロボティクスクラブのメンバーがYISでKISTを代表しました。(6分)

<http://bit.ly/kist-robot-sumo-2018>**スプリングコンサート K1~K3、KIPS**

学校の低学年生による約一時間のミュージカルエンタテインメントです。(55分)

<http://bit.ly/2DG4OSS>

KIST Libraries Team

Brain Bowl

今年、校内のBrain Bowl クラブの優勝者がSt Mary's International Schoolで開催されたKPASS Brain Bowl トーナメントに参加しました。



ひどい寒さにもかかわらず、生徒たちは素晴らしい一日を過ごしました！！かれらは立派に学校を代表して他のインターナショナルスクールの生徒たちとの交流を行いました。

2学期をまたいで提供されたクラブは大成功を収めました。是非、生徒たちには来年度もクラブに参加してほしいと思います！

皆さん、特に優勝チームの一員だったDevaj (G7B) 本当におめでとう！



Devaj (G7B) 向かって左



Cometsフットサル

本校のU-18男子チームと女子チームは共に今、ISTAAシーズンの真っ只中で6月にはISTAAトーナメントも控えています。両チームとも高学年のプレイヤーは少数ですが、練習で多くの努力を重ね、毎週成長しています。練習試合では栄えある戦勝も悔しい敗戦もありましたが、今年のトーナメントでは良い結果が出せることを期待しています。

U-14男子チームは6年生から8年生までの生徒が3月上旬から練習し、短い期間ではありますが、五戦全勝という華々しい結果と、惜しくもU-18チームには負けてシーズンを終えました。フットボールとは早いテンポとパスが大事であり、チームワークが重要なスポーツです。そんな中、チームは今、6月9日土曜日に行われるBSTとの練習試合に向けて練習しています。もちろん勝つことを期待していますが、それよりも生徒たちが成長し、試合自体を楽しんでくれることを望んでいます。今シーズン、この生徒たちを指導できたのは大きな喜びでしたし、生徒たちも今シーズンのことを忘れることはないと思います。

以下、チームメンバー名:

Kemo (G8A)、**Kishore** (G8A)、**Ryuta** (G8A)、**Andrew** (G8B)、**Daigo** (G8B)、**Hugo** (G8B)、**Parsh** (G8B)、**Ross** (G8B)、**Kaiser** (G8A)、**Sammy** (G7A)、**Varun** (G7B)、**Aidan** (G6B)、**Tatsuto** (G6B)、**Daiki** (G6B)

Campbell Boyd
U-14 Coach



U-18男子フットサル



U-18女子フットサル



U-14男子フットサル



活動中のU-14男子

クラブ活動のハイライト



オリンピッククラブ(エレメンタリー)



オリンピックのモットー、「より速く、より高く、より強く」は私たちのオリンピッククラブのゴールです。このモットーは肉体的なゴールだけではなく、日常生活の上で私たちも目指せるゴールです。東京オリンピックがあと2年に迫る中、私たちのクラブは3年生から5年生の生徒に、様々なオリンピック種目や、まだオリンピック種目ではないが成り得るであろうスポーツ種目なども紹介しています。

私はKISTのオリンピック選手たちの熱意や好奇心に感動させられており、様々な種目に対する努力とそのパフォーマンスに対しての、振り返りや挑戦に感銘を受けています。

オリンピッククラブの生徒たちは2020年の東京オリンピックに出られるほどではありませんが、将来オリンピック大会に出場したらうれいと思いませんか？すべての偉大な功績は実直な努力を基に生まれています。最後にマイケル・フェルプスの名言で締めたいと思います。「すべての事に対して限界を作るな、夢を見るほど、深くつき進めるのであるから」。

Cliff Green
Club Supervisor

This article was translated by Heizo (G10B).
この記事はG10B Heizoが翻訳しました。



電子音楽部(セカンダリー)

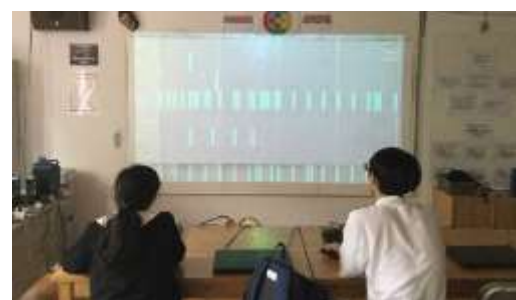
電子音楽部は、生徒たちが、主にコンピュータを使って様々な作曲スキルを身につけられるように設立されました。主な目的は生徒たちが音楽制作の基本を学ぶこと、LMMSというデジタル・オーディオワークステーションの内部構造や機能について学ぶことです。これは様々な機能を備えた無料音楽制作ソフトで、初心者からエキスパートまで使用することができます。私自身10年以上の経験を持つ電子音楽制作者として生徒たちがこの創造的な過程を学び、テクノロジーが私達の作業をどの様にアシストしているかを学ぶのは貴重な経験であると感じました。



年度の始めには、これまで音楽制作の経験を持った生徒は誰もいませんでした。インストラクターとしての私の役割は生徒たちが自身の作品を作れるよう、基礎的な知識を提供することでした。年度末にはすべての生徒がLMMSの扱いに習熟し、自身のアイデアをもとにした作品を完成し、家族や友人に発表することができました。現代では音楽の多くがコンピュータを媒介としているため、クラブの主な目的は生徒たちがソフトの基本を学ぶことでした。これは生徒たちが音楽を概念として理解する助けとなるだけでなく、自身の視点から音楽制作を行えるようになるためです。21世紀を生きる若い世代にとって、個人が限られた資材で作品を作り、広く共有できるということを知るのはとても重要です。

この1年間で、LMMSの扱いに習熟した後に別のプログラムを使い始めた生徒もいます。多くの生徒が自身のワークフローを組み立て、自身の作品を完成させることができました。年度の終わりには2名の生徒がNintendo Switchのみを使って共同で歌を作りました。年度の終わりまでにすべての生徒が電子オーディオ機器を使いこなし、その他の機器にも興味を示し、使いこなすという、電子音楽部の最優先目標を達成しました。

Douglas McGillivray
Club Supervisor



Staff 10!

今月のStaff 10!では、2017年1月にTeaching Assistantとしてエレメンタリーに加入し、2017年10月からITサポートスタッフとしてメインオフィスに勤務しているDominic Arnoldご紹介いたします。



お台場の水掛け祭りの後のMr Arnoldとお嬢さん

1) 出身地について面白いことを教えてください。

英国のマンチェスターの北部にあるロッチデールの出身です。ここは産業革命時に最初に産業化した町として有名なところです。また、協同組合運動発祥の地としても知られています。「協同運動発祥の地」という看板が町の入口にあり(あった)なかなか勇敢な宣言をする町だといつも思っていました。また、ビッグ・ベンにそっくりの市庁舎もあるんです！

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？

日本以外ではイタリアでしょうか。もう4回ほど訪れていると思うのですが、食べ物、ライフスタイル、文化、環境や景観のすべてが好きです。長い歴史を誇る国ですし、イタリア語を聞き飽きるということがありません。カナダとオーストラリアにも1年ずつ住んでいたことがあり、そのどちらの国にもまた住みたいと思います。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

父方の祖父です。一度もあったことはないのですが、小さな頃から何度も話を聞かされていました。父を育てた祖父に是非一度あってみたいです。他に会いたい人は特に思いつきません。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

うーん、特にはないです。DJをしていたことはありますが、あまりに昔のことなので、もはや才能と呼べるかもわかりません！

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

かなりの大家族の出身です。姉妹が4人(兄弟はいません！)飼っていた3匹の犬にも男子がいない女系家族でした。そのため、ガールズトークの絶えない家庭でした。あと、なぜか刑事コロンボのTVシリーズが大好きです。

6) あなたにとって一番の宝物は？

物質的には、無くってはならない物を所有しているか、わかりません。以前はレコードのコレクションが宝物でしたが、もはやどこにあるのかわかりません。もうイギリスで誰かに捨てられてしまっているかもしれません！

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。

どうでしょう、多分ですが・・・バランスの取れた人、でしょうか。できるだけ友人や家族と人生を楽しみ、仕事以外のことにも時間を使うようにしています・・・でも、もう少し運動すべきかもしれませんね。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

いいえ、思いません。

9) 自分を高めるために今やっていることは？

日本語を習得するというのが人生の目標です。「人生」と言いましたが、流暢に話せるようになるには本当に一生かかりそうなのです！

10) ファンに一言お願いします。

毎日学校に来て、皆と一緒に働くのが本当に楽しみです。これからも長く勤めたいと思っています！

オフィスアップデート

文書の請求について

最近、紙の形ではなく、オンライン形式での推薦書類を求める学校も多くなっています。オンライン形式での出願を求めている学校への転校を検討される場合でもKISTの文書や推薦状依頼の方法は同じです。推薦状の依頼はDocumentation Request Form (<http://www.kist.ed.jp/node/5> から入手可)に必要事項を記入の上、費用を添えてオフィスにご提出ください。オンライン形式での推薦状が必要な場合は出願先の学校に情報とオンラインリンクを個々の教員ではなく、info@kist.ed.jp におみお送り頂けるようお伝え下さい。



スクールランチの注文

2018-2019年度のスクールランチの注文またはキャンセルの締切は今年年度の最終日、**6月13日(水曜日)**です。この締切を過ぎてのリクエストはお受けすることが出来ませんのでご了承ください。



FOR SALE

学校をサポートする方法、または愛校心を示したいと思っている方はいませんか？1つあたりたった200円でKISTの時計またはマグカップの所有者になれます。機能的で、時間だけでなく日付と気温も表示することができるデジタル時計と、スタイリッシュな紺色のマグは贈り物にも最適です。ご希望の方はお早めに受付のMs Mitsuyoiにお問い合わせ下さい！



保健便り

子供の朝食摂取の利点について

なぜ朝食が一日の中で最も大切な食事なのでしょう？

健康的な朝食は一日の開始時に私達の体にエネルギーと栄養を補給します。

朝食を抜くことによって倦怠感や疲労、更には集中力が欠け、大切な学校生活に適応が困難となります。

なぜ朝食が子供にとって大切なのでしょうか？

健康的な朝食摂取は子供達にエネルギーと必要不可欠な栄養を供給します。炭水化物、タンパク質、食物繊維、鉄分、カルシウム、ビタミンなどは子供の成長と健康維持に必要です。

朝食摂取による学業成績へのプラス効果

研究によると健康的な朝食を常に食べている子供は多くの学力領域で高い成績を収め良いパフォーマンスを示しています。なぜなら朝食摂取は子供の適応性や注意力を高め、そして記憶力の強化にも関連しているからです。学校生活をベストな状態で過ごす為に健康的な朝食摂取は一日の始まりとしてとても大切です。

朝食摂取による精神的、肉体的な利益

健康的な朝食摂取は…

- ✓ 身体活動時に体力維持と持続力を供給
- ✓ 免疫保持と罹患防止の補助
- ✓ 脳の発育の促進
- ✓ 手と目の協調運動の上達(書法、スポーツ、ビジュアルアート、楽器などの上達を助ける)
- ✓ 勉強時の集中力保持
- ✓ 認識能力の向上
- ✓ 直ぐに集中できる。問題解決やストレスを処理する能力が向上
- ✓ 感情の安定、低いストレス
- ✓ 空腹と疲労感がないことで、幸福感と健全な気持ちでいられる

健康的な朝食摂取による過食防止の助け

学術的研究によると朝食を摂取していない生徒は栄養豊富な食事よりも脂っこい食事を食べ過ぎる傾向があると証明されています。更に朝食に含まれる栄養素は新陳代謝を活発にさせ消化力も助け体重増加(肥満)防止としても重要です。朝食を抜くことは体重の減量や健康的な食事の維持には効果的な方法ではないのです。

参考資料:

- Kids health from Nemours: Breakfast basics. (2018, May 21). Retrieved from <https://kidshealth.org/en/parents/breakfast.html>
- Adolphus, K. Lawton, C. & Dye, L. (2013). The effects of breakfast on behavior and academic performance in children and adolescents. *Human Appetite Research*, 7, 425-432. doi:10.3389/fnhum.2013.00425
- Brown, R. & Ogden, J. (2004). Children's eating attitudes and behavior: a study of the modelling and control theories of parental influence, 19(3), 261-271. doi:10.1093/her/cyg040



なぜ朝食を抜く生徒がいるのでしょうか？

一部の生徒は起床直後には空腹ではないということで、食事を登校前に優先せず、また他の生徒は時間がなく遅刻しそうなので朝食の時間はないと判断することがあります。

しかし上述の通り、朝食を抜くことは様々なマイナス影響を生徒に及ぼすので、朝食の時間を確保することがとても大切です。健康的な朝食習慣はKISTでの成功だけではなく将来まで繋がります。

健康的な朝食習慣作り

忙しい家庭でも朝食時間の確保への秘訣があります。

- ⇒ 朝の身支度などの日課はしばしば急ぎ忙しいですが、数分だけでも早く起き、10分だけでも十分なので朝食の時間を捻出(確保)しましょう。
- ⇒ 夜に準備できることを試みる(例、食器や器具の準備、果物をカットしておく、ゆで卵を作って冷蔵庫に保管しておく)
- ⇒ 台所に簡単にヘルシーな朝食オプションを貯蔵する(牛乳や豆乳、新鮮な果物や野菜、ヨーグルト、チーズ、全粒の食品など。食品アレルギーの有無や食の文化に応じて)
- ⇒ 子供に朝食の計画や準備を手伝ってもらう。小さな子供が朝食を手伝うのは時間短縮にはなりませんが、子供たちが朝食に関心を持ち朝食を摂ることに積極的になるでしょう。
- ⇒ 何かトーストに好きなものをトッピングしてみる(例、スクランブルエッグ、野菜、チーズや果物)これらは早くて手軽なヘルシーな朝食になります。
- ⇒ コップ一杯の牛乳や豆乳だけでもタンパク質の補給になり豊かな朝食となります
- ⇒ たとえしっかり朝食を食べる時間がなくても代わりに新鮮な果物、ミューズリーバー、サンドイッチやおにぎりなど素早く入手することもできます。

ご質問などありましたらお気軽にご連絡下さい。宜しくお願ひします。

Yukiko Yamazaki

School Nurse

yukiko.yamazaki@kist.ed.jp

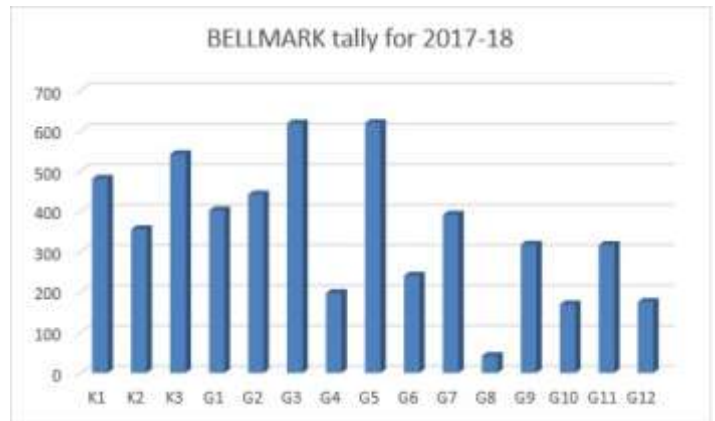
保護者会 (CA) ニュース



Service Committee



私達、Service委員は、ボランティア活動の一環で Bellmarkを集めています。今期までに集まったポイントと音楽の時間に使用する**トロンボーン**を交換することが出来ました。この活動を通して、全校生徒と一緒にボランティア活動を意識して取り組む事ができ、とても良い活動になりました。今後とも皆様と一緒に活動を続けていきたいと思いません。宜しくお願い致します。



CA Service Committee



CA Service 委員会の皆さんとG7A音楽クラスの生徒達

Library Committee

2月17日に行われましたWorld Culture DayでのInternational Food Festival での売上金 85,050円で、空気清浄機を3台購入する事が出来ました。エレメンタリーに1台、セカンダリーに2台設置しております。ご協力、ありがとうございました。

CA Library Committee



大学ガイダンスニュース

ファミリーデーでは体育館の大学進学ブースにお立ち寄りいただきありがとうございました。その場に貼り出した今年の卒業生の合格大学リストをご覧になられた方もいらっしゃると思います。今年も素晴らしい大学合格実績を達成しました。最終リストは次号のニューズレター *The Comet* September 2018 に掲載いたします。2018年度卒業生の皆さん、おめでとう！さらなる活躍をお祈りしています！

KIST春の大学フェアが3月21日に開催されました

お陰様で今年のKIST主催の春の大学フェアも大盛況でした。KIST全校からの数百名の参加者の他に、日本にあるインターナショナルスクールなど他校の生徒、保護者、カウンセラーの方々も参加されました。毎年恒例になったKIST春の大学フェアには、主に日本の大学で英語プログラムやIB生徒のための特別入試を行っている大学をお招きしておりますが、今年はオーストラリア、イギリス、香港の大学を含め30以上の大学の代表者の方がお越しになりました。各大学のブースで代表者の方から直接情報を得ることができたのではないかと思います。ご来場ありがとうございました。また、今年もPAオフィサーにはたいへんお世話になりました。フェア終了後のレセプションおよびリフレッシュメントをご用意いただきました。ありがとうございました。



3月21日に開催されたKIST春の大学フェア

Mrs Okude 駐日スイス大使にお会いする

4月に東京とその近郊にあるインターナショナルスクールの大学進学カウンセラーが、駐日スイス大使公邸でのディナーに招待されました。このイベントは、スイスにある世界で最も有名な名門ホテル＆ホスピタリティスクール、ローザンヌホテルスクール(EHL)の同窓生の方が企画してくださいました。駐日スイス大使、Jean-Francois Paroz ご夫妻をはじめ、ローザンヌホテルスクールの著名な卒業生の方々にお目にかかることができ、たいへん光栄でした。また、授業の一貫として日本の各地にある最高級の外資系ホテルでインターンシップをしている同大学の学部生数名にも会って話を聞くことができました。



スイス大使公邸でのディナー

夏休み中のオープンキャンパスや説明会

夏休みは大学キャンパスに足を運ぶのに絶好のシーズンです。オープンキャンパスや説明会の日程等は各大学のホームページをご覧ください。学校にご案内があったものについては [University Guidance Calendar](#) に随時掲載します。

では、皆様、楽しい夏休みをお過ごしください。また8月にお会いしましょう。

Mrs Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor
Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri 10:00-17:00
keiko.okude@kist.ed.jp

2018年度卒業生



(後列左から) Manato, Kensei, Rachel, Rinchin, Donghyuk, Ahmed, Ke Yi, Moe Min, Chae Min, Shouheng, Taisei, Su Bin, Chan, Qifei
(中列左から) Taimu, Sara, Amina, Jiu, Ellen, Seina, Keita, Ayaka, Hyo Won, Ibuki, Fiona, Nikita, Leia
(前列左から) Ji Hye, Natalie, Hyunjeong, Aska, Riko, Kevin, Hana, Sneha, Miu, Sarah, Yurika

おめでとう、皆さんのこれからの活躍を祈ります！

卒業生の声

AiriはKISTの2013年度卒業生です。2013年にオランダのUniversity of Groningenに入学し、2016年に心理学で学士号を取得。現在はドイツのミュンヘンにあるGraduate School of Ludwig Maximilians University Munich (LMU Munich)に在籍し、今夏、科学修士課程を終了予定です。

5年前の今頃、私はKISTでの卒業まで2ヶ月を切った状態でした。周りが卒業後の進路を決めていく中で、私は卒業後の明確な目標がつかめず、どんどん焦りが出てきていました。

もともと、私の計画では奨学金を獲得した上でアメリカか、カナダの大学に進学するはずでした。これが10年生くらの頃から描いてきた「理想の」未来像だったのです。けれど、現実はその思い通りにはいきませんでした。4月の中旬には出願した大学から奨学金の見込みが無いことを通知する手紙が複数届き始めていました。

この結果に、(母はそれを馬鹿げた考えだと蹴っていました)私は、もう大学になんか行かない、と考えていました。そんな中、母はある日私に「ヨーロッパに行ったらどう？」と提案してくれたのです。私はそれこそ馬鹿げていると最初は思いました。私にとって、北アメリカで学ぶという私の輝ける理想像以外はすべて検討する価値の無いものだったのです。でも、私にとって失うものがないのも事実でした。そこで5月に大学に願書を送り、6月に入試を受け、8月の終わりにはどうのご縁かオランダにいました。



バイエルン地方の民族衣装「ドリンドル」を着たAiri (左から2番目)

少なくともオランダでの最初の7ヶ月はホームシックを味わいました。異なる文化、人々、言語一短期の観光で訪れたのであれば私を魅了したであることも突然現実として重くのしかかってきたのです。家から9000キロも離れた場所で、3年間も過ごさなければならないのです。空港にさえ馴染みのなかった18歳にとってこれは大きな試練でした。

そのうちに、今おかれた状況を最大限に活かすためには自分から変わっていかなければならないということに気づきました。自分の「安全地帯」から一歩踏み出し、人に話しかけ、関係を構築すること—これは皆がとても親密だったKISTでは思いもよらない事でした。私は出来るだけ多くのコミュニティに参加しました。留学生会、honors college (優等学位プログラム)、学校ジャーナルなどです。これらのコミュニティでの経験と、得ることが出来た友人たちのおかげで何もかもが一変しました。もはやホームシックは解消し、ここにいたいと思えるようになりました。

学部最後の年これまでに身に着けたチャレンジ精神で大学院への出願を開始しました。志願した中には、現在在籍しているドイツの大学を含め、私の守備範囲外の学校もありました。ここでも思ってもみなかったご縁から、思わぬ経験をする事が出来ています。私はエネルギー溢れる街であるミュンヘンで幸運にも素晴らしいクラスメイトや支えてくれる仲間を得ることが出来ています。これまでの思いがけない経験を通して、最初はあまり自信のなかった事や、あまり気が進まなかった事に挑戦するようになりました。もし、



Airi(下段中央)と友人たちがミュンヘン周辺の美しい自然を満喫している所

最終的に上手く行かなかったとしても、挑戦し、努力したということが出来ます。実は、今、まさにこの言葉にすがりながら、就職活動に取り組んでいます(挑戦や努力はいつまでも終わりが無いと信じているのです、そうですね?)。

過去を振り返るとすべてがよく思えるとはよく言いますが、それでも、私は今、あの時、奨学金を獲得できなくてよかったと思っています。思い描いていた「理想」を捨てて、ヨーロッパに飛び出さなかったら、今の経験は得られなかったし、家から遠く離れた地を故郷にしてくれた大切な人たちにも会えなかったのですから。



友人とドイツの有名なクリスマスマーケットを楽しむAiri(左)

5年前そうだったように、今の私もこれから自分がどこでどうすることになるのか全く予想もつきません。でも、ここでの経験が、私に、常に柔軟に与えられた選択肢を受け入れ、怖れずに前に踏み出す事を教えてくれました。

Airi
KIST Alumnus, "Class of 2013"

ファミリーデー 2018

5月26日(土曜日)

